

2002年7月3日

NO. 12

又市征治 国政だより

又市征治事務所

発行責任者 谷岸 孝士
富山市下新町 4-27
TEL 076-441-0800
URL: www.s-mataichi.com

どうする？小泉(弟)氏や井上前参院議長秘書の疑惑 = 又市議員が「あっせん利得法」拡大を訴え

国会は法定の150日の会期切れ(6月19日)を自民党らが押し切り、7月31日まで延長された。健保の本人負担増や長期入院老人の健保打ち切りなど改悪成立を狙うものだ。

だがこの「会期」は自民党議員の疑惑で始まり逮捕で終る「政治家不信オンパレード」となった。<鈴木宗男と秘書、外務省2人が逮捕。加藤紘一氏は辞職。井上疑惑では井上氏が辞職、秘書2人と地元鎌ヶ谷市長が逮捕。>

又市議員は「政治倫理に手をつけずに閉会させてはならない」と、参院倫理・選挙特別委での活発な審議を要求。同委は6月27日、「あっせん利得処罰法」改正の野党4党案・与党3党案を平行で審議開始した。【写真】

又市議員が「小泉首相の選挙区の横須賀市で実弟が下水事業でメーカーに入札情報を流し、コンサル料3,000万円余を得ている。法改正し処罰の対象とすべきだ。」と主張。

答>野党「我々の案では対象となる。」

与党「親族は対象にしない。」

...と質疑は緊迫した。自民党は骨抜き「成立」を策しておりさらに追及が必要だ。



ムネオ汚職「やまりん」にも、農水省から署長ら6人が！ 国有林盗伐の背景にも天下り：又市議員が衝く

又市議員は参院行政監視委で毎回、政府案『行革大綱』による天下りの緩和に反対し、規制強化の論陣を張ってきた。7月1日の同委で又市議員は、

「鈴木宗男逮捕の贈賄側『やまりん』に農水省から営林署長ら6人が天下りし、その見返りに国有林の伐採許可、のちには盗伐を黙認していた」と具体例をあげ、「こんどの政府案ではこうした天下り人事も内輪の農水大臣承認に改悪される。第三者=人事院による規制の強化こそ必要だ」と追及。

人事院総裁は「政府案のような『事後規制』では実効がない」と答えた。

Mataichi TOPICS

「有事」と「行政個人情報」法案は廃案へあと一步

自衛隊のスパイ部門である調査隊らが、市民のブラックリストを作り回覧していた事件の浮上で、これらの悪法案は審議が頓挫している。

「どこでも誰でも」の郵便サービスを守ろう

小泉ニセ「改革」で郵便の商業化が進めば、山村離島などでは集配が危ぶまれる。又市議員は「郵政公社参議院の会」の社民党代表として、国民サービスを守る正しい公社化移行のため、与党の一部とも協議を重ねている。